



PORSCHE

14. Jan. 2014

Vol.03/14

革新的なタルガーフをフィーチャーした美しいニューモデル

デトロイトモーターショーでニュー911 タルガ 4、タルガ 4S がワールドプレミア

ポルシェ AG（本社：ドイツ、シュトゥットガルト 社長：マティアス・ミュラー）が、デトロイトモーターショー（NAIAS）のプレスデイ初日、2014 年 1 月 13 日に行ったプレスカンファレンスにおいて、ニュー911 タルガ 4 および 911 タルガ 4S がワールドプレミアを果たしました。

新しく生まれ変わった 911 タルガは、クラシカルなタルガのコンセプトと最先端のルーフテクノロジーを融合した初めてのモデルです。伝説の初代タルガ同様、ニューモデルのタルガにも特徴的なワイド B ピラーを備えています。フロントシート上方のルーフセクションが可動式となっており、C ピラーは省略されリアウインドウがサイドに回り込むように設定されています。クラシックモデルとの相違は、ニュータルガのルーフシステムはボタンひとつで開閉できることです。ボタンを操作すると、フルオートマチックのルーフシステムがコンバーチブルトップをリアシートシステム後方に格納し、良好な視界を確保しています。リアアクスルの荷重が大きい 911 用に設計された標準装備のポルシェ・トラクション・マネージメント（PTM）4WD はポルシェの特徴であり、また、この最新の 911 があらゆる路面、あらゆる天候で最適なドライビングダイナミクスを発揮することを保証します。

これらの特徴を与えられたニュー911 タルガは、1965 年にデビューしたクラシックモデルを高品質かつ革新的に再現して登場します。このモデルは、911 カレラ 4 カブリオレの各モデルと非常に多くの共通点を持ちます。ウインドウラインまでは、これらのモデルのテクノロジーおよびボディはほとんど同一です。4WD モデルの特徴でもあるワイドなリアエンド、タルガバーおよびドーム型のリアウインドウによって、この最新の 911 はきわめてスポーティな外観とワイドなプロファイルに仕上げられています。

4WD のみ設定の 2 バージョン

先代モデルと同様、新世代のタルガも 2 バージョンが用意され、いずれも 4WD となっています。911 タルガ 4 は、350 PS (257 kW) を発生する水平対向 3.4 リッターエンジンを搭載しています。ポルシェ・ドッペルクップリング（PDK）およびスポーツクロノパッケージを装備したこのモデルは、0 ～ 100 km/h をわずか 4.8 秒で加速し、最高速度は 282 km/h に到達します。NEDC(新欧州サイクル)における燃費は 8.7 リッター/100 km、CO₂ 排出量は 204 g/km となっています。トップモデルは 911 タルガ 4S で、排気量 3.8 リッターで 400 PS (294 kW) を発揮します。PDK およびスポーツクロノパッケージを装備した場合、このモデルの最高速度は 296 km/h に達し、0 ～ 100 km/h 加速タイムは 4.4 秒をマークします。NEDC における燃費は 9.2 リッター/100 km、CO₂ 排出量は 214 g/km となっています。

これらの数値で、911 タルガ 4S はエンジンおよび走行性能、さらに効率の点で 911 カレラ 4 カブリオレが打ち立てた高い基準に並びます。いずれのモデルも、Euro 6 排出ガス規制に適合しています。

＜本件に関する読者からのお問い合わせ先＞
ポルシェ カスタマーケアセンター 0120-846-911
ポルシェ ホームページ <http://www.porsche.co.jp>

＜本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先＞
ポルシェ ジャパン株式会社
広報室／荒瀬大雅 木内洋治
〒153-0064 東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー16F
TEL : 03-5436-5936 FAX : 03-5436-5919

ポルシェ ジャパンプレスサイト <https://press.jp.porsche.com>